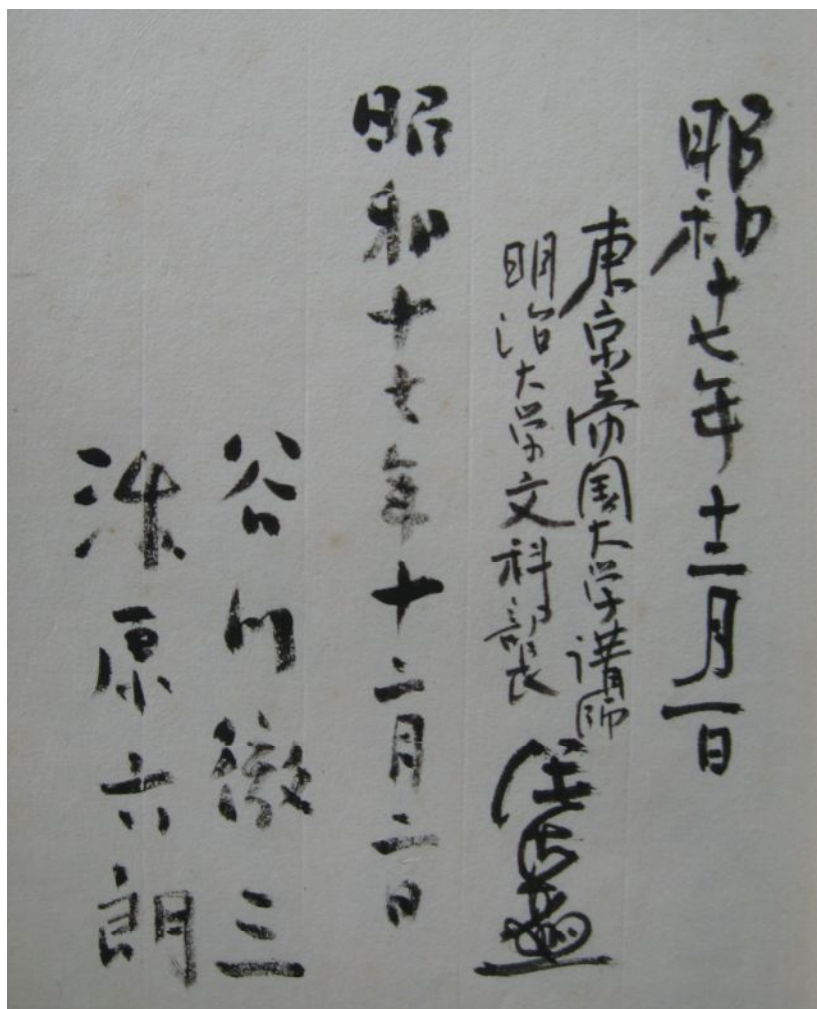


尾佐竹 猛 (明大文科部長 / 憲政史・外交史)

谷川 徹三 (法大総長 / 哲学)

浅原 六朗 (日大教授 / 作家)



昭和十七年十二月一日

東京帝国大学講師  
明治大学文科部長  
尾佐竹 猛

昭和十七年十二月二日

谷川 徹三  
浅原 六朗

<記帳者の紹介>

**尾佐竹 猛** 1885～1946

判事・検事、憲政史・外交史・明治文化史研究者

明治32(1899)年、第1回判検事登用試験に合格、昭和17(1942)年の退官まで判事・検事を務めた。この間、憲政史研究などにも業績をあげ、明治大学・東京帝国大学で教鞭を執った。

**谷川 徹三** 1895～1989

哲学者

京都帝国大学で西田幾太郎に学び、三木清・林達夫らと交わる。昭和3(1928)年、法政大学教授、戦後は核兵器廃絶運動に協力した。昭和38(1963)年～同40(1965)年まで、同大総長を務めた。昭和62(1987)年文化功労者となる。

昭和43(1968)年7月30日にも、本館『芳名録』に記帳がある。

(詩人谷川俊太郎氏は長男)

**浅原 六朗** 1895～1977

作家

実業之日本社「少女の友」主筆となり、大正10(1921)年、同誌に童謡「てるてる坊主」(ペンネーム浅原鏡村)を発表。

昭和3(1928)年、小説「或る自殺階級者」が出世作となり、退社、作家活動に入る。

昭和9(1934)年～同47(1972)年、日本大学芸術科で教鞭を執る。その後も、作家活動を送りながら、女子聖学院短大などでも教壇に立った。